



福岡市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ここと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）  
福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階  
TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428  
Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

## 福祉の現場の声をインタビュー

～大学生にできることを考えてみよう！～

令和3年度に引き続き、中村学園大学の学生が、地域福祉や地域活動について学ぶことを目的として、校区社会福祉協議会(以下「校区社協」)会長へのインタビューを行いました。

前はオンラインによる実施でしたが、今回は、大学にて対面で実施し、令和4年6月24日に長尾校区社協の宮崎武司会長、7月22日には別府校区社協の平川信二会長が、それぞれ校区社協活動を始めたきっかけや活動内容、福祉活動に込める想い等を学生に語りました。

長尾校区社協



▲将来に向けて学業を大切にしてほしいと語る宮崎会長

別府校区社協



▲地域活動において、感性を磨くことの大切さを語る平川会長

対面開催だったこともあり、学生から次々に会長へ質問が寄せられ、校区社協会長が丁寧に回答していました。

インタビューの終わりには、会長からこれから社会に羽ばたく学生に対して、今後の活躍を期待する激励のメッセージがありました。

### 学生からの主な感想（一部抜粋）

- 地域福祉活動があるおかげで住みやすい地域となり、地域住民同士のつながりができているのだと知りました。
- 地域のコミュニティーの存在が住民の安心や楽しさを支えており、そのために活動している方がいるということがわかりました。私自身も小学校と地域を結びつけるような活動に取り組んでみたいと思いました。
- 地域とのつながりの大切さを教えていただき、今後どうすれば、子どもたちやその保護者、地域の方がつながっていくかを考えるきっかけになりました。

# 七隈校区社協 福祉のまちづくりプラン「つながるプラン“ななくま”」

七隈校区社協では、コロナ禍で様々な制約がある中でも、「誰もが自分らしく安心して暮らせる町」を目指し、人と人とがつながることのできる事業を展開するため、『福祉のまちづくりプラン』を作成し、令和4年7月に校区広報紙に掲載しました。

まちづくりプランでは、ふれあいネットワークやふれあいサロン、子育てサロンの充実や、認知症等啓発事業等の活動を紹介しています。

また、校区では「男性が集う居場所がないこと」や「災害時に備え、住民が要支援者に声をかけ合えるルールが必要」との課題を抱えていました。今回のプラン作成過程において、健康麻雀や災害時の救援プランといった取組みの動きも出てきたことから、今後校区内の関係団体の協力を得ながら、『福祉のまちづくりプラン』の実現に向けて、地域福祉活動を進めていきます。

- ① つどいの場でつながろう  
～気軽に参加、交流できる場を充実させます！～
- ② 気にかけてあつてつながろう  
～ふれあいネットワークの充実！～
- ③ わかりあつてつながろう  
～認知症等への理解を深めよう！～

### ななくま社協だより

2022年7月29日 第52号

～つながるプラン“ななくま”～

コロナ禍のなかでの生活も3年目をむかえ、マスクにも慣れた今日この頃です。感染予防のために事業が制約される中、誰もが自分らしく安心して暮らせる町を目指し、人と人とがつながることのできる事業を展開するため、七隈校区社協の取り組みとして、福祉のまちづくりプラン「つながるプラン“ななくま”」を考えました！

① つどいの場でつながろう  
～気軽に参加、交流できる場を充実させます！～

● 校区ふれあいサロン一覧 ●

- 梅の会 (梅林1丁目) 第1次曜日10時
- 梅林1丁目集会所
- サロン梅林 (梅林3丁目) 第2・4次曜日10時
- 梅林中学校地域交流室
- サロンみどり (梅林みどりヶ丘) 第4日曜日10時
- 梅林5丁目第1集会所
- お手玉会 (梅林5丁目) 第2・3金曜日13時30分
- 梅林5丁目第1集会所
- 西町サロン (七隈3・5・6丁目) 第2次曜日10時
- 七隈公民館
- ほしくまきつ会 (千種) 第3木曜日10時
- 千種集会所
- サロン万葉 (七隈校区全域) 第1・3水曜日10時
- いこいの家

● 高齢者対象の町内サロンが6カ所、校区全体が対象のサロン(サロン万葉)が1カ所あります。

● それぞれ工夫をこらした活動をしています。お問い合わせはお住いの町内の民生委員さん、または七隈公民館までお願いします！  
七隈公民館 電話(071) 6905

### チューリップサロン

(南見サロン)

ひまわりの会

認知症や障がいなどをかかえる家族を介助している方達に情報交換や相談者の場として集っていただいています。

健康マージャンで元気になろう！(仮)

準備中です！決まり次第、回覧や公民館だよりに掲載しますのでお見逃しなく！  
(ゲームに熱中症予防のため秋以降の予定です)

② 気にかけてあつてつながろう  
～ふれあいネットワークの充実！～

● 気になるご近所さんを日常生活のなかで気にかけて、万が一のことがないように支えるのがふれあいネットワークです。地震や災害に備え、一歩ふみこんだ災害時の救援支援プランを考えていきます。

③ わかりあつてつながろう  
～認知症等への理解を深めよう！～

● 住み慣れた家で安心して暮らすにはお互いの気持ちに寄り添うことが大切です。認知症などの抱えていることかかえる方への理解を深めるため、研修会や講座を設けて啓発をすすめます！

● 令和4年度城南区民生委員・児童委員大会で、4人の民生委員さんが表彰されました。  
永年勤続民生委員(児童委員)表彰  
● 江口充子さん(梅林5丁目)  
城南区民生委員協議会会長表彰  
● 大村康子さん(千種2丁目)  
● 宮崎弘子さん(みどりヶ丘) ● 岩崎良子さん(西町5丁目)

## 介護者の悩みや葛藤を分かちあう「家族介護者カフェ城南」 ためらわず本音や愚痴を・・・

令和4年8月に城南保健所において、介護者が日頃の在宅での介護の悩みや葛藤などを共有し、心身のリフレッシュを図ることを目的に、城南区社協主催の“カフェ”を開催しました。

参加した介護者からは「睡眠時間が少ない」「イライラする」などの悩みや、「同じ立場の人と話ができて、気持ちが軽くなった」「在宅介護を続けるには福祉サービスを充実してほしい」などの話がありました。

また、城南第3いきいきセンターの安部管理者から「困ったときは、介護問題に限らず自分で抱え込まず、誰かに相談・話すことで気持ちが軽くなる」との助言をいただきました。

最後は、オブザーバーで参加した別府校区社協の平川信二会長からの「このカフェに参加して介護者の皆さまの苦労を理解できた。今後、校区での介護者の集いの場を考えてみたい」との挨拶でカフェを締めくくりました。

カフェ終了後、参加者同士で個別に茶話会が行われるなど介護者の輪が広がっています。次回は年明けに開催する予定です。

介護者のリフレッシュのための介護サービスを提案する  
助言者(白熊園：岩川主任)

### 参加者等の内訳

参加者	人数
介護者(女性4、男性1)	5
助言者	2
オブザーバー	1
被介護者	人数
夫	3
実母・義母	2

この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。